

緑化樹木の情報

緑化通信

報誌

2019
1月25日

(年7回25日発行)

第470号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三浦ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL : http://www.ueki.or.jp/
E-mail : honbu@ueki.or.jp

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



歓迎の挨拶

中部ブロック長

黒田 晴彦
(有)美好緑化・愛知県

北陸一社 福井県

福井県支部長

清水洋樹
(株)清水植物園

新年あけましておめでとうございます。

とくとく弊社は北陸で唯一の本協会会員となつてしまい地方での植木生産・販売の大変さを感じています。昨年は大雪・台風・日照りと植木生産・仮植売りをするには大変な年でした。が、皆さんの助けのもと何か新年を迎えるには大きかったです。働き手不足もあり大変ですが、皆さんのが、皆年のと何

うございました。昨年は、皆様に大変お世話になりました。今年が、協会会員並びに、みなさま方にとって、一層飛躍出来る良い年になりますようご祈念申し上げます。

この度、平成31年度通常総会が名古屋市で開催されますことを、中部ブロック会員一同心より歓迎いたします。

昨年は、稀に見る大規模な自然災害の多い年でした。それを象徴する漢字が昨年の一文字に表されました

が、この『災』は2004年にも使われています。そ

りがとうございます。

弊社は主に大小様々なロマツ・アカマツ等の生産

を約30haの圃場で行っています。現状としては植え込み不足や昨年の災害で在庫不

足になりがちになつていています。最近は圃場で眠つてい

た少し変わった樹形の樹木

やマツ以外の樹種を植え替えて民間の需要に使っても

足りないがちになつていています。良いのか悪いのか私個人としては樹種の特徴を確

かめながら作るので発見

が、あって楽しいです。また、圃場がすこしづつ整理

していけると喜んでいます。働き手不足もあり大変

です。働き手不足もあり大変

演題 「公園事業を取り巻く最近の話題」

国土交通省 東北国営公園事務所 所長

武 藤 徹 氏

懇親会

中部ブロック研修会

江間正章

(株)江間種苗園 静岡県

会計年度の変更もあり1年半ぶりの集まりとなりましたが、夫倉会長を囲んでの夜更けまでの懇親会となりました。

た。

平成30年度は書面総会を平成30年11月30日に行いました。年半前の集まりとなりましたが、夫倉会長を囲んでの夜更けまでの懇親会となりました。

た。

奉還後、元の代官屋敷に手を入れて趣味に没頭し、二十年間住んでいたということだ。

当時の贅沢な時の流れを想いながら手入れが隅々まで行き届いた庭園を行き届いた庭園を散策した。

手入れが隅々まで趣味に没頭し、二十年間住んでいたということだ。

当時の贅沢な時の流れを想いながら手入れが隅々まで趣味に没頭し、二十年間住んでいたということだ。

マキの仕立ても等が並んでいた。県内近郊の需要から海外への輸出まで幅広い需要に対応するため100年以上前からの植木・苗木の生産地として歴史を継承し、攻守に日々努力している姿が見受けられた。

アオダモ株立をはじめ常緑・落葉のシンボルツリー等・柑橘苗を中心に落葉果樹(カキ・クリ・イチジク・モモ)など多種多様な生産を行っていた。次に視察されたのは、静岡県支部長の社園伸一郎がいた時代に、久能忠仁が久能寺というお寺を建てたと伝えられる。さらに

アオダモ株立をはじめ常緑・落葉のシンボルツリー等・柑橘苗を中心に落葉果樹(カキ・クリ・イチジク・モモ)など多種多様な生産を行っていた。次に視察されたのは、静岡県支部長の社園伸一郎がいた時代に、久能忠仁が久能寺というお寺を建てたと伝えられる。さらに



復興記念公園事業においても先に立っています武藤所長様より東北国営公園の事業として、まず初めに平成30年度に立っています。

続いて国営追悼・祈念施設(仮称)の概要として岩手県陸前高田市における高

園者100万人を目標としての今後の方向性を説明されました。

手稟陸前高田市における高樹祭も行いました。後は工事自体が順調に進むかどうかの様に見受けられま



1日目は当協会員の若松園さん、植英さんの圃場を視察した。こちらでは、60ロック全域から30名が参加しました。

2日目は浜北区へ戻り当協会員やマキ種苗園さんの圃場を視察した。こちらでは、60種類30万本のポット苗を生産し、主に、カシ類、ギンバイカ、トキワマンサク、

さかき、シャリンバイ、タ

マリュウなどを幅広く作っている。緑化樹木主体だが、近年はホーリセンターラ

ロック時代には、武田信玄公が「久能城」を築城。その

戦国時代には、武田信玄公

が、「久能城」を築城。その後、徳川家康公の遺言によ

って、徳川家の守護城になっていた久能山へ遺骸を移

し、家康公が埋葬された。

さらに2代将軍秀忠公によ

り社殿が造営され、我が國最初の東照宮となつた。平成22年には本殿、石の間、拝殿が国宝に指定された。

敵に攻め込まれないよう急

な角度で造られた石段を意

味を切らして上り、400年

前に彫られてそのまま残っ

ているといわれる彫刻に感

心し、それぞれに参拝して宿泊地の静岡駅方面に向か

った。

宿泊はガーデンス

クエアホテルであ

る。ここは、浮月楼

の旧住居で、2千坪

を超える敷地に、當

時日本一と言われた

京都の庭師小川治兵

衛によって造られた

庭園と料亭とビジネス

ホテルが併設され

ている。慶喜は大政

を対象に日本からの輸出を

大きく拡大すべく、多岐多

様な場面、さまざまな関係

者との絆になつて、各事案

をスムーズに進めるべく、

多岐多様なサービスを提

供、実行されておられま

さでした。

今後、我々植木業界も行

方々のご支援を頂き、輸出

の拡大を図ればよいと思

いな期待を感じました。

講師の柴原氏は、全世界

をスマートに進めるべく、

多くの人材交流と日本、ブ

ラジルの友好関係の増進に

取り組まれました。

さらに近年は、中国・上

海で、日本・群馬県との貿

易を拡大すべく、群馬県上

海事務所長として、未だ

未開拓の中国との貿易拡

大、人的交流の促進に取り

組まれました。農産物の輸

出拡大は、日本農業の大き

な目標の一つです。輸出農

産物のなかでも植木は、特

に中国で人気があり、既に

イスマキなどの輸出実績が

あり、今後、群馬県産の植

木が中国等海外に輸出され

ることが期待されます。ま

た、貿易・国際交流すべ

てにおいて相手国との信頼関

係の構築が最も大切なこと

であるとのことです。

現在ジェトロでは、今ま

で輸出の経験が全くない事

業者に対しても言葉の問

題、輸出法令や輸出手続な

どをサポートすべく、全国

各地で専門セミナーを開催

し、実際輸出に取り組む事

業者には、アドバイザーを

派遣し、一見、不可能と思

われる地方の小さな事業者

にも輸出のチャンスを創出

されておられます。

今後、我々植木業界も行

方々のご支援を頂き、輸出

の拡大を図ればよいと思

いな期待を感じました。

講師の柴原氏は、全世界

をスマートに進めるべく、

多くの人材交流と日本、ブ

ラジルの友好関係の増進に

取り組まれました。

さらに近年は、中国・上

海で、日本・群馬県との貿

易を拡大すべく、群馬県上

海事務所長として、未だ

未開拓の中国との貿易拡

大、人的交流の促進に取り

組まれました。農産物の輸

出拡大は、日本農業の大き

な目標の一つです。輸出農

産物のなかでも植木は、特

に中国で人気があり、既に

イスマキなどの輸出実績が

あり、今後、群馬県産の植

木が中国等海外に輸出され

ることが期待されます。ま

た、貿易・国際交流すべ

てにおいて相手国との信頼関

係の構築が最も大切なこと

であるとのことです。

現在ジェトロでは、今ま

で輸出の経験が全くない事

業者に対しても言葉の問

題、輸出法令や輸出手続な

どをサポートすべく、全国

各地で専門セミナーを開催

し、実際輸出に取り組む事

業者には、アドバイザーを

派遣し、一見、不可能と思

われる地方の小さな事業者

にも輸出のチャンスを創出

されておられます。

今後、我々植木業界も行

方々のご支援を頂き、輸出

の拡大を図ればよいと思

いな期待を感じました。

講師の柴原氏は、全世界

をスマートに進めるべく、

多くの人材交流と日本、ブ

ラジルの友好関係の増進に

取り組まれました。

さらに近年は、中国・上

海で、日本・群馬県との貿

易を拡大すべく、群馬県上

海事務所長として、未だ

未開拓の中国との貿易拡

大、人的交流の促進に取り

組まれました。農産物の輸

出拡大は、日本農業の大き

な目標の一つです。輸出農

産物のなかでも植木は、特

に中国で人気があり、既に

イスマキなどの輸出実績が

三重県支部 鈴鹿市立鈴西小学校 4年生

●平成29年12月6日

「この木なんの木」4人グループに分かれて事前に準備した6種類の樹木を、校庭を歩きながら見つけて、その樹木の特性等を学んだ。その後、班ごとに発表を行った。今年は例年より生徒数が多く、スタッフ8名でぎりぎりでした。毎年恒例になってきているので、これからも子どもたちのために続けていきたいです。



神奈川県支部 横浜市立小雀小学校 3年生

●平成30年2月13日

「みどりの大切さ」「樹木の生産には長い年月がかかること」「どんなところに使われているか」「生産での苦労すること」などを織り交ぜた授業を行いました。授業の記念品として苗木をプレゼントしました。事例の蓄積と継続をします。



三重県支部 鈴鹿市立鈴西小学校

●平成30年11月6日

学校の植物を使ったハーバリウム作り。

熊本県支部 錦町立西小学校 1年生

●平成30年7月21日



樹木の役割について、樹木の大切さについて、世界の色々な樹木について、植木の植え込み方法について。今回、小学校で緑育をさせていただいた子どもたちと楽しく過ごせてとてもよい経験をさせていただきました。



熊本県支部 甲佐町立乙女小学校 5年生

●平成30年7月4日



福岡県支部 飯塚市立幸袋小学校 3年生

●平成30年10月31日

晴天に恵まれ、緑育日和でした。ジンダイアケボノ3.0位5本とヒラドツツジを、小学生に植えてもらう作業の、安全指導や植栽指導をメインに行いました。小学生も興味深く、生き生きとボランティア植栽を行ってくれました。

福岡県支部 小郡市立立石小学校 5年生

●平成30年2月14日

朝は寒かったのですが、日中は天気も良く、楽しく行うことができました。田中常緑園さんの圃場で、実際に緑や土に触れて緑の話しゃいや、掘り取り作業などを身近に見たり、体験出来たことが、小学生との距離も縮まり、お互い楽しく緑育ができたと思います。



大分県支部 枝築市立豊洋小学校 4年生

●平成30年2月13日

奈多海岸での植栽指導として、小学生と一緒に抵抗性クロマツの植林を行いました。その後、マツの植林をテーマに勉強会を行った。防災のために海岸林を整備する必要性、植えるだけでなく後の管理が松原にとって大切であることを児童に理解してもらえるよう努めました。海岸に植えた黒松を通じて植物に親しみ、緑の大切さを感じながら児童たちが成長することを願います。



宮城県支部 石巻市立貞山小学校 6年生

●平成30年7月2日

理科特別授業
植物のはたらきと人の暮らし
①植物の省エネ効果 ②都市環境の美化
③講師が職業選択した訳
④仕事内容と生き方
⑤社会人、職業人として大切な事
⑥地球温暖化の訳と対策



鹿児島県支部 出水市西出水小学校 3年生

●平成30年11月10日

緑の大切さを感じてもらい、植木屋の仕事を知ってもらうことを目的に、行なった今回の緑育出前授業。同校で行なうのは今年で8年目となる。(平成20年より実施。毎年第三学年を対象)

いつも見ている校庭の樹木も、植木屋さんが植えた、立派な植木なんだよ、と生徒たちに教えてあげると、驚く生徒が大半を占めていた。生徒たちにとって少しでも樹木に興味を持つてもらう機会になったようである。

この木なんの木では、10種類の樹名当てクイズだったが、10種類以外にもいろいろな植木があることを、ゲーム中に覚えることができ、子供達が樹木に興味を示す一つのきっかけになったと思う。

普段は気にも止めなかった樹木が、ふとしたことで、あの時の樹木と思い出してくれるだろう。今後、校庭や、道路の街路樹、庭に植わっている木を見るときに、植木屋さんのことを少しでも思い出してくれることを切に願う。



千葉県支部 東金市立正気小学校 5年生

●平成30年11月20日

①木の話:植木屋さんとは。木の役割。木のはたらき。
②木に親しむ:みんなでコンテナ植栽体験



関東・甲信越ブロック 花とスポーツフェスタ おもてなしガーデン

●平成30年8月25日、26日 港区お台場にて

今年で参加4年目となる東京オリ・パラおよび花きの普及イベントにて、来場者を対象として、こけ玉づくりワークショップ、木へんの漢字パズルを開催。猛暑の中、186名がこけ玉づくりに参加し、用意した苗木が全てなくなりました。ご家族も合わせて400名近くの参加者となった。協会のPRと、緑の大切さを伝えた2日間でした。



猛暑の中、2日間お疲れ様でした。



福岡県支部 Let's Go ! アンビフェスタ!

●平成30年7月22日 小郡市生涯学習センターにて

一般来場者対象に漢字パズルやこの木の木クイズを行い、修了者に苗木や緑育パンフレット配布を行う。来場者には緑に対して身近に感じて頂き、重要な役割であることを認識して頂き、今後の緑を普及していくことにつなげることが出来たと思います。



パンフレットにも掲載

協会記念植樹贈呈事業

平成29年の記念樹贈呈事業の実績件数は6件、平成30年度は4件、記念植樹が行われました。30年度の一例を紹介致します。

- ・平成30年8月11日に「NPO法人ひろしま人」の依頼により、協会員の(株)濱野樹苗園(広島県)が「もみのき森林公園(広島県廿日市)にレンゲツツジ35本の植樹を行った。
- ・平成30年9月27日に「社会福祉法人友和の里」の依頼により、協会員の(株)濱野樹苗園(広島県)が「グループホームゆうわ」創立記念植樹を行い、平戸ツツジ35本が植樹された。

震災遺構仙台市荒浜小学校(宮城県) 来館者数10万人記念植樹

仙台市まちづくり政策局から依頼があり、平成30年7月28日、東日本大震災での震災遺構仙台市立荒浜小学校敷地内の(株)ガーデン二賀地(宮城県)の田中秀穂氏によって3m程のコブシの記念植樹が行われた。

東日本大震災により被災し、その後閉校した仙台市立荒浜小学校を、平成29年4月から震災遺構として公開している。開館以来の来館者数が10万人突破を記念し、来館者10万人目の方が記念植樹した。



河北新報
平成30年7月29日



荒浜小学校と記念樹



朝日新聞
平成30年7月29日

東京都福生市立福生第五小学校の 創立50周年記念植樹

福生市立第五小学校校庭にて

平成30年10月27日に以下の果樹を協会員の石川園(東京都)の石川剛氏が東京都福生市立福生第五小学校のPTA役員の方とその児童たちで創立50周年記念植樹をしました。

カキノキ(甘柿)H2.5~3.0 1本
ビワノキH2.0 1本
ミカン(温州)H2.0 1本
クリH2.5~3.0 1本
ウメH2.5~3.0 1本
キウイフルーツ 苗3本



この様な樹名板と
カーボン支柱も贈呈。



植樹したPTA役員の方たち



実がなったら嬉しいね。

特集 緑育出前授業参加者10,000人突破!!

平成20年より10年間で累計119件の緑育出前授業を行い、参加人数は10,169名となりました。

緑育ご指導してくださった会員さん、その社園の従業員の方、お手伝いしてくださった方、お蔭様で参加者が1万人を超えるました。ご協力ありがとうございます。

平成30年度の様々な緑育出前授業を紹介します。

2例の緑育を紹介します

三重県支部

Dream Station 学童

●平成30年8月22日 ●桑名市

「身近な植木どこから来るかご存じですか?」【植木の届ける宝物】「花の寄せ植え体験」素直で元気のある子供たちばかりで、みんな積極的でした。地球環境のことや、植木、花に興味を持てもらえたと思います。



毎年恒例の沖先生。みどりの大切さを教える最初の授業。



夏場は仕事時が暑くて大変。
扇風機ジャケットに子どもたちは興味津々!



自分好みの植物を選んで寄せ植え。



思い思いにデザインしています。



大切に育ててね。



終わった後は、みんなでお掃除。



頑張ったね、ハイポーズ!

鹿児島県支部

出水市立蕨島小学校

●平成30年10月5日

①プロジェクトスライドを使用し、・植木屋の職業について(植木ってなんだろう?、植木屋さんの仕事道具、畑を見よう、植木は大切ななど)・緑(樹木)の大切さについて。・緑育パンフレット、地球温暖化の授業

②この木なんの木(樹木名当てクイズ)+樹名板作成 雨のため、校庭にてこの木なんの木ができなかったため、体育馆に10種の切り枝を準備し実施。ヒント集をもとに、樹木名を当てもらうゲーム。その後、樹名板を作成する。

感想

少ないながらのびのびと学ぶ生徒を相手に、充実した緑育を行うことができた。

座学では、実際の仕事風景等を写真で紹介するなど、普段みることのできない植木屋の仕事内容を伝えることができた。低学年から高学年までいるということで、難しい話をできるだけなくしての授業となつたが、先生からの評価も概ね良好だった。やはり、全く知らないことを学ぶということは、生徒たちにとっては、楽しいことになるようだ。

樹名板を、作成する時には、実際の切り枝を見ながら、樹木名を記入してもらった。自分の書いた樹木プレートが校庭にあると、その木に対して愛着も湧くだろう。

まずは、会員準備の焼いた杉板を、ウエスで磨き、ピカピカになった板に、ペンキで樹木名やイラストなど、自由に書いてもらう。外が雨だったため、後日設置となつたが、生徒たちには、切り枝を見ながらどういった樹なのかを目で見て感じてもらひながら、樹木名を記入してもらった。

今後、校庭や、道路の街路樹、庭に植わっている木を見るときに、植木屋さんのことを少しでも思い出してくれることを切に願う。



鹿児島県出水市の広報誌「いすみ」にも紹介されました。

平成30年度「特別庭園樹木(名木)」を認定

①アカマツ

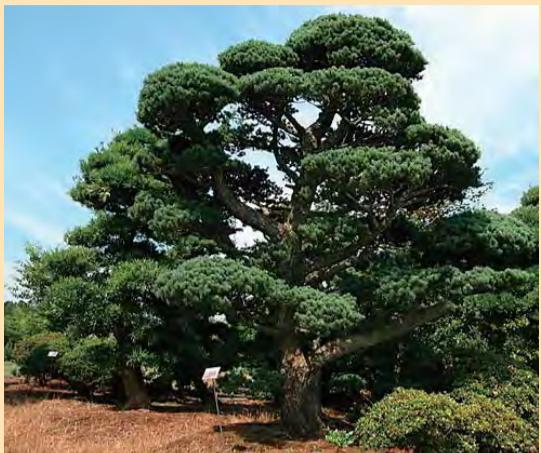
樹高7.50m 幹周1.60m 枝張5.00m
樹形 双幹仕立
推定樹齢 220年
認定番号 181401



(有)小田原植木 近藤 増男
神奈川県 小田原市

②ゴヨウマツ

樹高5.00m 幹周1.05m 枝張4.50m
樹形 自然型仕立
推定樹齢 120年
認定番号 181402



(有)小田原植木 近藤 増男
神奈川県 小田原市

③クロガネモチ

樹高6.50m 幹周3.00m 枝張 4.00m
樹形 台付(接木物)
推定樹齢 200年
認定番号 181403



(有)小田原植木 近藤 増男
神奈川県 小田原市

名木認定制度は、最高の技術と長い年月によって育成され藝術的風格を備えた庭園樹木(造形仕立て物及び自然型仕立物)を「名木」と認定し、その価値を称賛するとともに、生産技術の継承、生産意欲の振興を図り、名木の対象樹種は、本会員の所有する中・高木で、販売の意思があり、運搬可能であるものです。平成30年度は、関東ブロックを対象に募集を行つたところ3本の応募があり、一次書類審査をすべてが通過し、9月20日に現地へ赴き、2次審査を行い、申請樹木のうち「品位、風格を有し、社会的希少価値が極めて高いもの」として3本が認定されました。

学校紹介

～明日のスペシャリストを育てる～

福岡県立行橋高等学校

本校は、明治36年に農学校として創立され、平成25年に110周年を迎えました。

平成3年に現在の行橋高



フラワーアレンジメント



フォークリフト講習会

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、



造園技能士検定

菜・草花といった栽培系の教材を扱う

中、プロジェクト学

習の考え方を理解さ

せ、学習の基本とな



喚起させることを目的に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現する方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品している長崎ハウステンボスのガーデニングショールの見学

です。

他のにも、森林実習やインターンシップ、小型車両建設機械・フォークリフ

ト運転技能講習など

の資格取得等、将来、職業人として時代の変化に力強く対応できる人材の育成を目標に、日々取り組みを行っています。

今後も総合型専門高校として専門性を高め、ブランドイメージを展開することにより、地域に愛され、地域と共に発展する学校づくりを目指し、地域産業を担う人材の育成に努めて参ります。

感想

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、

習の考え方を理解させ、学習の基本となる観察・記録し考察する態度や技術を身に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現す方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品して

いる長崎ハウステンボスの

ガーデニングショールの見学

です。

他のにも、森林実習やインターンシップ、小型車両建設機械・フォークリフ

ト運転技能講習など

の資格取得等、将来、職業人として時代の変化に力強く対応できる人材の育成を目標に、日々取り組みを行っています。

感想

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、

習の考え方を理解させ、学習の基本となる観察・記録し考察する態度や技術を身に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現す方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品して

いる長崎ハウステンボスの

ガーデニングショールの見学

です。

他のにも、森林実習やインターンシップ、小型車両建設機械・フォークリフ

ト運転技能講習など

の資格取得等、将来、職業人として時代の変化に力強く対応できる人材の育成を目標に、日々取り組みを行っています。

感想

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、

習の考え方を理解させ、学習の基本となる観察・記録し考察する態度や技術を身に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現す方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品して

いる長崎ハウステンボスの

ガーデニングショールの見学

です。

他のにも、森林実習やインターンシップ、小型車両建設機械・フォークリフ

ト運転技能講習など

の資格取得等、将来、職業人として時代の変化に力強く対応できる人材の育成を目標に、日々取り組みを行っています。

感想

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、

習の考え方を理解させ、学習の基本となる観察・記録し考察する態度や技術を身に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現す方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品して

いる長崎ハウステンボスの

ガーデニングショールの見学

です。

他のにも、森林実習やインターンシップ、小型車両建設機械・フォークリフ

ト運転技能講習など

の資格取得等、将来、職業人として時代の変化に力強く対応できる人材の育成を目標に、日々取り組みを行っています。

感想

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、

習の考え方を理解させ、学習の基本となる観察・記録し考察する態度や技術を身に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現す方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品して

いる長崎ハウステンボスの

ガーデニングショールの見学

です。

他のにも、森林実習やインターンシップ、小型車両建設機械・フォークリフ

ト運転技能講習など

の資格取得等、将来、職業人として時代の変化に力強く対応できる人材の育成を目標に、日々取り組みを行っています。

感想

は、庭園完成までの一連の作業工程は、庭園完成までの一連の作業工程

環境緑地科では、緑あふれる住環境を目指し、ガーデニングから庭園作り、都

市公園の設計・施工管理や測量などの学習を通じ、社会人として、また職業人としての基本的な知識・技術

習力を注ぎ、「創造・勤労・協同」の校訓とともに、21世紀の産業社会をリード

することが出来るスペシャリストの育成を合言葉に努力しています。これまで、地域の方々から長年校じて、多くの人材を輩出しています。また、3年次には、

専門高校として躍進を重ねてきました。農業技術科・環境緑地科・総合ビジネス科・生活デザイン科の4学科を設置し、専門科目の実習に力を注ぎ、

習の考え方を理解させ、学習の基本となる観察・記録し考察する態度や技術を身に付けさせています。2学期には、造園への興味・関心を

現す方法を身に付けさせています。そして2学期には、毎年3年生がコンテナ

ガーデンを作製、出品して